

## 本の紹介

# 「前立腺がんガイド」

二十一回生 大森 信

中高年の日本人男性の中に急速に増加しつつある前立腺がんは、罹患者数はがん全体で第3位、死亡数は毎年1万人で増加率は第1位の恐ろしい病気とされています。しかしこのがんは早期に見つかっていれば、治療の選択肢も広く、完全に治癒することができます。9年前、前立腺がんの恐れがあると告げられたとき、私は前立腺がどこにあるかぐらいは知っていましたが、病気の内容や治療についての知識は正直言ってほとんどありませんでした。治療のために渡米して知ったことは、前立腺がんの罹患者数と死亡数が日本よりずっと多い米国の一般の人々の前立腺がんについての知識がとても豊富なことでした。医療保険の充実した日本の患者は自分の治療をあまりにも医者任せ、病院任せにしていると思います。中高年になると、私の周りに

も前立腺がんの症状を訴える人やそれで亡くなった人が少なくないのですが、もう少し早くから、この病気のことをよく知っていたらと残念に思います。

そこで、米国で最も広く読まれているというジョンズホプキンス大学病院のウォルシュ教授の本「ウォルシュ博士の前立腺がんガイド」(原題Dr. Patrick Walsh's Guide to Surviving Prostate Cancer, 2007年改訂版、Wellness Central, NY, 575頁)を翻訳し、著者の許可を得て日本人向きに要約しました。ウォルシュ教授は世界的な名医で、日本の泌尿器科の医師ならだれでも名前を知っている人です。翻訳は余暇に続けたので、完成には丸3年を要しましたが、この間、ウォルシュ教授とは何度も手紙を交換して、日本語版の制作への激励を受けました。また、私の発病当初からの担当医や旧知の医学者には専門医の立場から原稿の監訳に協力してもらいました。この本が前立腺がんを心配している人達やその家族に病気についての十分な知識を与え、患者が最適な治療を受けるための、また看護にあたる家族には心構えのための最上の手引になることを信じています。

## 『ウォルシュ博士の前立腺がんガイド』



訳 : 大森 信

監訳 : 北見 一夫

定価 : 3,780 円 (本体 3,600 円 + 税)

ISBN 978-4-8067-1438-5

排尿機能と性機能を温存した前立腺摘除手術を編み出した世界的名医であるウォルシュ教授(ジョンズホプキンス大学)が書き下ろした前立腺がんの予防と治療のすべて。

その発症から、多岐にわたる治療法の選択と予後まで、迷いがすっきり解消する本格的治療ガイドです。

日本に比べ、圧倒的に前立腺がんの患者数が多い米国で、患者とその家族向けに書かれた治療ガイドですが、本書で紹介されている薬剤の中で、日本で使える薬、使えない薬、日本での商品名なども明示し、患者本人のみならず、家族などの関係者から、医療従事者まで参考になる本にしました。

外科医であるウォルシュ教授は、病理医や放射線腫瘍医からの意見を集めて、多様な治療法を提案。それぞれの治療法の作用のしくみから、プラス面マイナス面までを、かなり踏み込んで解説しています。

進行してしまった前立腺がん治療のための内分泌療法、抗がん剤による化学療法、免疫療法、遺伝子治療、血管新生遮断剤、アジュバント療法などの最新の治療法から、痛みへの対処、患者の妻やパートナー、看護者へのアドバイスもついた、ゆき届いたガイドとなっています。

詳しい内容、著者紹介は弊社ウェブサイトにも掲載されております。

お問い合わせ

築地書館 編集部 土井二郎